






百人一首 (うたばんごう 歌番号 : 31 ~ 35)

<p>ひとはいさ          こころし          心も知らず          ふるさとは          花ぞ昔の          香にほひける</p> <p>紀貫之  <small>きのつらゆき</small></p> 	<p>たれをかも          誰をかも          知る人にせむ          高砂の          松も昔の          友ならなくに</p> <p>藤原興風  <small>ふじわらのおきかぜ</small></p> 	<p>ひさかたの          光のどけき          春の日に          しづこころなく          花の散るらむ</p> <p>紀友則  <small>きのともりのり</small></p> 	<p>やまがわ          山川に          風のかけたる          しがらみは          ながれもあへぬ          紅葉なりけり</p> <p>春道列樹  <small>はるみちのつらき</small></p> 	<p>あき          朝ぼらけ          ありあけつき          有明の月と          見るまでに          よしの里に          吉野の里に          降れる白雪</p> <p>坂上是則  <small>さかのうえのこれのり</small></p> 
<p>おしは          いのな          けるか          るむか</p>	<p>まつも          しのむか          なくもな          らなくに</p>	<p>しづこ          ころ          なくは          なるの</p>	<p>ながれ          もあ          えぬも          みじ          なりけり</p>	<p>よしの          のさ          とにふ          れる          しらゆき</p>